



ご取材のお願い

和歌山大、教職志望者を対象にしたSDGsシンポジウムを開催 第一生命・和大学長が登壇

和歌山大学教育学部では教職課程科目「SDGs論」において教職を志す学生を対象に、SDGsとこれからの教育をテーマにしたシンポジウム「いのちと暮らしそしてこれからの教育」を開催いたします。

秋学期に始まった「SDGs論」の授業では、変わりゆく教育・人口減少・食と農業・いのちと平和など、さまざまな角度から現代的課題について学んできましたが、今回のシンポジウムでは、「いのちと暮らし（すべての人に健康と福祉を）」をテーマに、和歌山大学長とともに、第一生命保険株式会社本社より責任投資推進部長が登壇し、教職を志す1回生の学生を主対象にこれからの教育の展望について語ります。

日時 令和6年1月31日（水）午後2時50分～午後4時20分
（報道の皆様は途中入場・退出可）

場所 和歌山大学教育学部（和歌山市栄谷930）東2号館1階 L101

テーマ いのちと暮らしそしてこれからの教育

登壇 本山 貢（もとやま みつぎ） 和歌山大学長
岸上 光克（きしがみ みつよし） 和歌山大学学長補佐／教授
岡崎 健次郎 氏（おかざき けんじろう）
第一生命保険株式会社責任投資推進部長

備考 和歌山大学教育学部（学長・本山 貢（みつぎ）、教育学部長・田川 裕之）では、第一生命保険株式会社和歌山支社（支社長・岡崎 誠）より寄附を受け、2023年度秋学期より寄附講義「SDGs論 ～いのちと暮らし～」を開講しました。この科目は現代的教育課題を学ぶための教育学部の専門教育科目として位置づけられており、教員となるために必要となる教職課程の科目として設定されています。

本件についてのお問い合わせ

国立大学法人和歌山大学

担当：教育学部（松尾・渡邊）

〒640-8510 和歌山市栄谷930

電話：073-457-7206 FAX：073-457-7220

メール：kyosou@ml.wakayama-u.ac.jp

授業のイメージについて

授業科目名	SDGs 論 ～いのちと暮らし～
講義概要	<p>西暦 2030 年に向けて国際的に合意された到達目標 SDGs(Sustainable Development Goals)は、環境問題や経済的な課題など、世界を取り巻くさまざまな課題に多角的な視点から取り組む意欲的なプロジェクトです。ここには、社会的な課題が示されるとともに、「食糧」や「健康」、あるいは「教育」など、わたしたちの普段の暮らしに直接関わるような項目もあり、それらを含め、すべての項目は私たちが人間として持続的に生き続けるにあたっての目標と言えるものです。本講座では、こうした SDGs の理念を理解するにあたり、副題に示すように「いのち」そして生活者としての「暮らし」に着目し、未来に向けた持続可能性を担保するための「教育」論から授業を組み立てることにしました。</p> <p>(なお、本講座は第一生命株式会社からの寄附を受けて和歌山大学教育学部が企画・実施するものです。)</p> <div style="text-align: center;"> <p>The image shows the 17 Sustainable Development Goals (SDGs) arranged in a grid. To the left of the grid is the logo for 'First Life' (第一生命), which includes a red oval with the text '第一生命' and two circular arrows. Below that is the logo for 'Wakayama Univ.' (和歌山大学), featuring a stylized orange wave and the text 'wakayama univ.'.</p> </div>
単位数	1 単位 (全 8 回)
対象	教育学部 1 回生
開講期間	2023 年度 秋学期 第 4 クォーター (12 月開始) 毎週水曜日 14:50-16:20
講義概要 <u>下線部が今回の内容です。</u>	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション「いのちと暮らし～SDGs の基礎理論」 2 SDGs における「ヒト」に関わる問題～変わりゆく教育について 3 SDGs における「社会」的課題～人口減にどう対応するか 4 SDGs における「環境」の問題～食と農業 5 SDGs における「いのちと平和」に関わる課題 6 SDGs と「企業活動」～ESG 投資 (第一生命 ESG ご担当) <u>7 SDGs をテーマとしたシンポジウム「いのちと暮らし」</u> 8 まとめと振り返り 今後に向けたロードマップづくり